

2024 年度後期における「学生による授業評価アンケート」に対するコメント

2024 年度後期における「学生による授業評価アンケート」の実施に際しましては、ご協力いただいた学生の皆様並びに非常勤講師の皆様、専任教員の皆様に感謝申し上げます。

以下に、2024 年度後期「学生による授業評価アンケート」の全体の結果を概観してまいります。まず回答者数ですが、全科目における延べ受講者数 10038 人に対しまして総回答者数は 5524 人であり、回答率は約 55%となりました。直近の 2024 年度前期の回答率が約 63%でしたので、約 8%のダウンとなっていました。しかし、昨年度の回答率を見ますと、前期における回答率は約 57%、後期は約 48%でしたので、年間での回答率をみると、若干ではありますが改善傾向にあると思っております。本アンケートの実施方法をユニバーサルパスポートを用いての方式に変更して以来、回答率が上がらない状況が続いておりますため、2023 年度から回答率の向上を FD・SD 委員会の重要課題と位置付け、改善に向けて取り組んでおるところでございます。本年度におきましても、回答率向上に向けてさらなる工夫を行って参りますので、どうぞご理解いただきまして、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

さて、上記の回答率から考えますと結果の解釈には慎重であるべきことを踏まえまして、以下に 2024 年度後期における「学生による授業評価アンケート」の全体的な特徴を述べていくことにします。まず A 領域の「あなた自身について」ですが、「①この授業への出席割合」「②授業に積極的に参加した」「④授業を受けて関連領域をさらに深く勉強したくなった」「⑥この授業全般において満足である」の 4 項目においては、平均が 5 点満点中 4 点を越えていました。「⑤シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じる」の項目に関してのみ平均は 3 点台でしたが、3.96 という数値から考えると、ほぼ 4 点に近いといえます。こうした結果に基づきますと、「授業の出席率は非常に高く、尚且つ、授業には積極的に参加し、そして、授業で学修した領域をさらに深く学びたいと思うようになり、シラバスに掲げられている到達目標を達成できそうだと感じている」、このように自身の学修状況を認識していることがうかがえます。そして、学修状況をこのように認識しているため、授業全般に対する満足度も高くなっているのだと思われます。本アンケート結果からは、このように推測することが可能かと思われます。

次に、B 領域の「授業や教員の教え方について」ですが、「⑦学生が集中しやすい授業だった」「⑨学生の理解度を確認しながら授業が行われていた」「⑩授業の学習目標を学生に伝えていた」の 3 項目においては、平均が 5 点満点中 4 点を越えておりました。また、「⑧授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった」においては、若干平均点は落ちるものの数値としては 3.88 でした。こうした結果から考えますと、教員の授業運営に対する認識として「教員は授業時に学習目標を伝え、個々の受講生の理解度に気を配りながら、また授業に集中できるように教室をコントロールしていた。そして、質問や意見を発言しやすい環境にも一定程度配慮していた。」というように認識していたと推測されます。

A 領域、B 領域の結果をまとめますと、「授業中において、受講生は積極的に集中して取り組み、到達目標を達成できそうな程度に学修できており、さらに学んでいきたいと思っている」、そして「教員は受講生が学習しやすい環境を整えている」、授業に対してこのような認識を持っていることが推測されます。そして、授業評価におけるこうした傾向は昨年とほぼ同様であり、ここ数年の変化もほとんどない状態にあります。このことから考えますと、学年や年度にかかわらず、授業に対するポジティブな認識が本学における教育活動の大きな特徴の 1 つといえるでしょう。各資格における国家試験の合格率はさらに向上しています。また、就職に関しては、開学以来高い就職率を維持し続けています。こうした本学の学修活動の特徴を代表する学修成果は、授業を中心とした学修活動の充実が大きな要因になっているものと思われます。

しかし、本学の大きな課題の 1 つであります受講生の予習や復習といった授業外学習時間につきましては、微増傾向にあるものの、まだ十分とはいえない状態だといえます。学修者本位の教育の実現をめざし、授業時以外でも学生が主体的に学習していくことができる学習環境を総合的につくりあげていくことが、本学に求められている現在の最重要課題といえます。2025 年度におきましても、引き続き一人ひとりの学生さんとの丁寧な対話を続けていくことによって、この課題の解決をめざしていきたいと思っております。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

FD・SD 委員会委員長 須河内 貢

授業評価アンケート

2024年度 後期

授業コード：

授業科目名： 全 体

受講者数： 10038名

担当教員名：

回答者数： 5524名

学科	人間科学部 社会福祉学科	人間科学部 医療福祉学科 介護福祉専攻	人間科学部 医療福祉学科 視能訓練専攻	人間科学部 子ども教育学科	人間科学部 社会創造学科	人間科学部 健康心理学科	人間科学部 医療心理学科 臨床発達心理専攻	人間科学部 医療心理学科 言語聴覚専攻	人間科学部 理学療法学科
	947	0	233	699	113	0	18	0	0

学科	心理学部 心理学科	保健医療学部 理学療法学科	保健医療学部 作業療法学科	保健医療学部 言語聴覚学科	学年	1年次	2年次	3年次	4年次
	1654	1096	334	430		2835	1602	752	335

設問No	設問文	1	2	3	4	5	*全平均
		そう思う	やや そう思う	どちらでも ない	あまりそう 思わない	そう 思わない	

A.あなた自身について

①	この授業への出席割合は 1.毎回 2.ほとんど 3.3分の2ぐらい 4.半分ぐらい 5.半分未満	2741	2083	575	50	48	4.35
②	授業に積極的に参加した	2503	2165	633	131	60	4.26
③	この授業1回あたりで予習や復習に費やした時間は 1.2時間以上 2.1時間以上~2時間未満 3.30分以上~1時間未満 4.30分未満 5.全くしていない	315	576	1430	1720	1453	2.38
④	授業を受けて、関連領域をさらに深く勉強したくなった	1892	2264	953	223	159	4.00
⑤	シラバスで掲げられている到達目標を達成できそうだ	1665	2380	1136	200	112	3.96
⑥	この授業全般についてあなたは 1.満足である 2.やや満足である 3.どちらでもない 4.やや不満である 5.不満である	2362	1918	953	179	81	4.15

B.授業や教員の教え方について

⑦	学生が集中しやすい授業だった	2627	1772	847	157	90	4.22
⑧	授業は質問や意見などを発言しやすい様子であった	1963	1707	1209	405	206	3.88
⑨	学生の理解度を確認しながら授業が行われていた	2224	1837	981	292	153	4.04
⑩	授業の学習目標を学生に伝えていた	2602	1776	872	137	98	4.21

